

# 予算等審査 特別委員会



予算等審査特別委員会（議長を除く17人の議員で構成、委員長多田勉議員、副委員長照井文雄議員）は、条例5件、予算1件、その他6件について付託を受け、審査を行いました。  
今委員会では、今後の施策全般にわたり活発な質疑が交わされました。その結果、全12議案を原案のとおり可決・承認しました。

## 医療費助成の拡大 中学生も現物給付に

**問 条例改正内容は。**  
**答** これまで中学生が医療機関を受診した場合は、窓口で医療費受給者証と医療費助成給付申請書を提出することにより、2か月後以降に自己負担額を超えた医療費を保護者の指定口座へ給付（償還払い）していた。子育て支援のため、中学生も8月以降は県内の医療機関であれば、受給者証

の提示のみで自己負担額までの支払い（現物給付）となる。

**問 現物給付の利点は。**  
**答** 医療費の窓口負担軽減が図られ、安心して医療を受けられる環境が整う。給付申請書の提出が不要となることと受給者の利便性が高まる。また、一時負担が少なくなることで、病院へのかかりやすさから早期治療による重症化・慢性化を抑制する効果が期待される。

# 新型コロナウイルス感染症 予防と対策を

## サーモグラフィー カメラの購入

**問 サーモグラフィーカメラの設置場所、運用方法は。**

**答** 市民会館、ふれあい交流センター、市民体育館、みやもりホール等の4カ所を想定している。運用方法については、マニュアルを策定するなど、今後検討していく。

**問 1台の値段が高いと感じているが。**

**答** 精度の高い機種を選定している。日々進化しているものでより良いものを導入したい。  
**問 導入後のメンテナンス、点検料などは。**  
**答** 設置時の費用は掛かるが、導入後のメンテナンス等の費用は掛らない。

## 生活物資の供給支援

**問 事業の目的は。**

**答** 新型コロナウイルス感染症リスクの軽減を図り、公共交通の利用頻度が高い市民に対して物資を供給する。

また、市内生産者、販売事業者の経営活性化を推進し、市民と産業界の元気回復効果を図る。

**問 どのような取り組みか。**

**答** 75歳以上の世帯と重度障がい者がいる世帯を対象。施設入所の方は含まない。対象者に、日用品などのリストを提供、そこから選択する仕組みとした。

## 乗用馬の生産を守る

**問 事業内容は。感染症の影響による。**

り、10月下旬に開催予定の乗用馬市場の購買率の低下が予測される。会場となる遠野馬の里の施設環境を強化・充実し、購買率の向上を図る。  
具体的には、会場のMICE環境の整備、ホームページの充実や会場の装飾、購買者である各乗馬クラブ等を訪問して経営状況やニーズを調査する。

**問 営業活動について**  
**答** 詳細な情報の提供が重要であり、現場で育成に携わっている職員に訪問していただく。畜産振興公社と協議しながら必要性があれば支援する。  
**問 市場の開催判断の時期は。**  
**答** 開催が難しくなった場合、生産者を守る新たな対策を講じなければならぬので、8月上旬までには判断したい。



一歳馬管理共励会での様子

## 市内経済の 元気回復に向けて

**問 消費喚起支援事業費補助金の内容は。**

**答** 遠野すずらん振興協同組合で取り組んでいるポイント発行及び商品券発行事業への補助を行い、遠野市内の消費喚起をする事業。  
**問 市民の声を聞いてさらに予算を増額できないのか。**

**答** 今回は本年度の上半期分を想定している。

今後は国の政策と組み合わせながらさらなる予算化を検討している。

**問 国が出した給付金を市内で消費してもらった組み合わせが必要だと思うが。**

**答** 今回のポイント還元等の事業をしっかりと遠野テレビや広報などの媒体を使って周知し、市内の消費を喚起できるように仕組みしていきたい。

## イベント等の 自粛緩和の方針は

**問 新型コロナウイルス感染症が全国で流行して以来、県市でも多くのイベントが中止されたため、観光客も激減し、旅館や飲食業を中心に影響が出ている。市のイベント等、再開の目的は。**

**答** 国や県を参考にしながら段階的に緩和していきたい。

**問 岩手県は未だ感染者ゼロで、県民の誇り**

である。行政が率先して自粛緩和していかないと、市民は困るのではないか。

**答** 大きなイベントは県外から観光客が来るのでコントロールできない。地域の行事については、県の方針で屋内の場合、収容率50%以内か100人まで、屋外の場合は十分な間隔をとって200人までが現在の目安である。目安は、段階的に緩和される方針なので、今後も市のホームページ等で周知していく。



30回の節目を記念する遠野納涼花火まつり  
今年は見られない...



遠野まつりも中止。荒天以外での中止は第1回の昭和47年以降初めてとなる。

# 市民の声

このコーナーでは、市民のみなさまから議会に寄せられたご意見等のご紹介をします。（文章は、原文のままですが、長い場合は抜粋して掲載しています。）



子ども達の議会が開催されたことを知り堂々と意見を述べる姿が頼もしく感じました。子ども達が将来に向かって活躍していただきますようお願いいたします。（松崎町・81歳・男性）

「子育てするなら遠野」という大スローガンにはいささか違和感を覚えます。妊婦さんが市外へ健診に行かず地元で診ていただき安心して出産できたなら、どれほど気が楽かわかりません。今更ですが、産婦人科医の招へいをぜひ実現していただき、ひとりでも多くの子どもさんが市民になられます様に願ってやみません。（小友町・70歳・女性）